

第7回化学工学ビジョンシンポジウム SV-1, 2, 3 「2050年 脱炭素社会への道」

2021年

3月20日(土)午後・3月21日(日)終日

化学工学会GOING VIRTUAL(オンライン学会会場)A会場 https://goingvirtual.scej.org/web_conf

参加無料
要参加登録



協賛



後援



概要

温暖化ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする脱炭素社会の実現を目指して、世界中で、多角的な取り組みが加速されています。化学工学会では、2020年度の重点施策として、「社会課題解決に向けての政策提言と社会実装」を掲げて参りました。そこで、本シンポジウムでは、国内外の動向を俯瞰するとともに、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、議論いたします。産学官の連携、学際融合から化学工学が挑む脱炭素社会の実現について、多様な視点で議論する場を提供します。なお、本シンポジウムは、一般公開シンポジウムと位置づけ、学会員を問わず無料でご参加いただけます。また、一部のセッションは、国際シンポジウムとして開催いたします。



プログラム

Day1 PM

「脱炭素社会に向けた国内外の情勢」

- 13:00 開会の辞 石戸 利典氏 (株)IHI エクゼクティブ・フェロー/化学工学会会長
- 13:10 近藤 智洋氏 (環境省 地球環境審議官)
- 13:30 堀尾 正毅氏 (東京農工大学名誉教授 / (一社)共生エネルギー社会実装研究所)
- 14:00 西尾 匡弘氏 (産業技術総合研究所)
- 14:40 平尾 宙氏 (太平洋セメント(株))
- 15:20 休憩
- 15:40 Ms. Edit Mucsi (Government of South Australia)
- 16:20 Mr. Cédric Philibert (The former senior analyst, International Energy Agency)
- 17:00 まとめ 塩沢 文朗氏 (住友化学(株))

本セッションは、ムーンショット型研究開発制度における目標4「2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」のプロジェクトマネージャーにご講演いただきます。

11:00 休憩

11:20-12:20

パネルディスカッション「循環の視点から考える地域の未来」

- ファシリテータ 古山 通久氏 (信州大学/株)X-Scientia)
 パネリスト 尾下 優子氏 (東京大学)
 能村 貴宏氏 (北海道大学)

Day2 AM

9:00-11:00

「希薄に分散したCO₂の回収・資源転換による炭素循環」

- 福島 康裕氏 (東北大学)
- 杉山 正和氏 (東京大学)
- 則永 行庸氏 (名古屋大学)
- 児玉 昭雄氏 (金沢大学)
- 藤川 茂紀氏 (九州大学)
- 野口 貴文氏 (東京大学)

Day2 PM

「社会実装に向けた国内外の動向」

- 13:00 後藤 文昭氏 (三井住友信託銀行(株))
- 13:40 有村 俊秀氏 (早稲田大学)
- 14:20 市川 貴之氏 (広島大学)
- 15:00 紺野 博靖氏 (西村あさひ法律事務所)
- 15:40 休憩
- 16:00 所 千晴氏 (早稲田大学)
- 16:40 菅 寂樹氏 (東京大学)
- 17:20 閉会の辞 辻 佳子氏 (東京大学/化学工学会本部大会運営委員長)

化学工学会では地域の産業連携によるカーボンニュートラルを目指すプランを策定し、社会実装を目指しております。全員参加型の議論を展開し、みなさまからのプロジェクトへの新規提案を歓迎いたします。